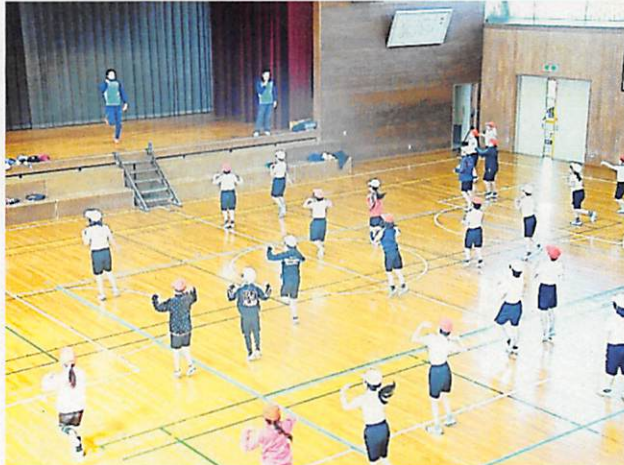




東郷小だより

第 3 9 号
平成 30 年 3 月 15 日
東郷小学校 校長室

みんなで楽しく体づくり 笑顔で😊とうごう体操😊



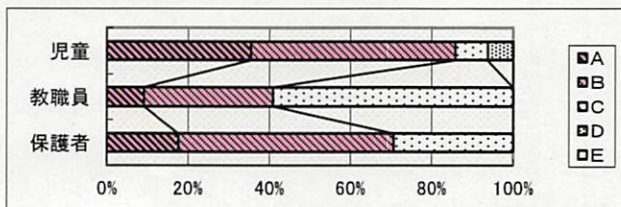
3月6日(火)、TISから講師を招き、3～5年生を対象に「体づくり運動・とうごう体操」の授業(=上写真)を行いました。

「とうごう体そうは、はじめは難しいかと思ったけど、かんたんにできる体そうで、とても面白かったです。家でもできそうなので、家族に教えて家族といっしょにやってみたいです。(4年1組 日生下 昊さん)」

笑顔いっぱい楽しい学校 学校診断アンケート結果

12月に実施した児童240名(4～6年生)、教職員22名、保護者17名(PTA役員・委員)による学校診断アンケートの結果を参考に、東郷小学校の本年度の取組を振り返ってみました。(アンケートは各質問に対して、A:よくあてはまる、B:どちらかと言えばあてはまる、C:どちらかと言えばあてはまらない、D:あてはまらない、E:分からない・どちらとも言えない、の中から一つ選択)

「自分からあいさつをしている」

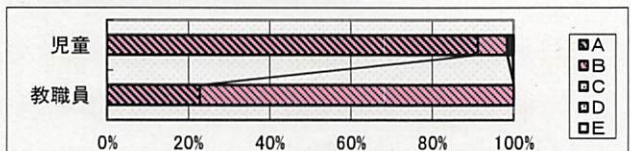


AとBの合計約85%の児童が「自分からあいさつをしている」と答えています。また、全体的に不十分と感じていた教職員が、前年度は約75%でしたが

今年度は約60%でした。児童会と生活安全委員会を中心に、年間を通して「すきさ」(=すすんで、きちをこめて、さわやかに)を合言葉に、「あいさつすごろく」など、工夫してあいさつ運動に取り組みました。あいさつについて児童の意識は高まっています。しかし、まだまだ「自分からあいさつできる」には至っていないようです。

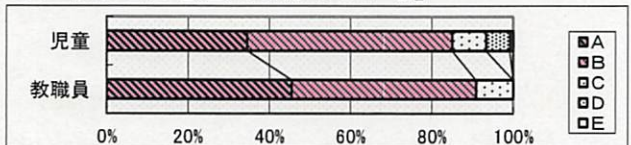
来年度も引き続き、年間を通して計画的に「あいさつ運動」を実施し、児童が主体となる運動として展開していきます。

「学校に仲のよい友達がいる」



AとBの合計約98%の児童が「学校に仲のよい友達がいる」と答えています。全体としては、児童の学校内での人間関係は良好だと考えられます。

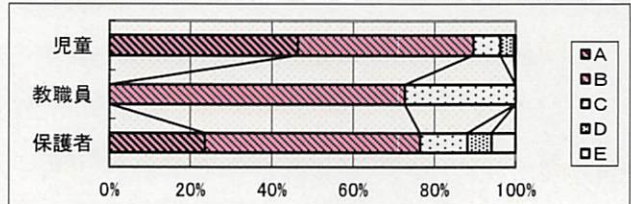
「係や当番、委員会、有志の活動など、みんなのためになることを進んでいる」



AとBの合計約85%の児童が「みんなのためになることを進んでいる」と答えています。今年度は、毎日の清掃活動に加え「東小スタンプラリー」を縦割り班で行い、4年生がリーダーとして活動する機会となりました。教職員の90%以上が、「子どもたちは、みんなのためになることを進んでいる」と感じています。児童が「ありがとう」と言ってもらえる機会が増え、児童の自己有用感が高まりつつあります。しかし、児童の活動状況からすると、もっと自信をもち、自己有用感が高くなってほしいと思います。

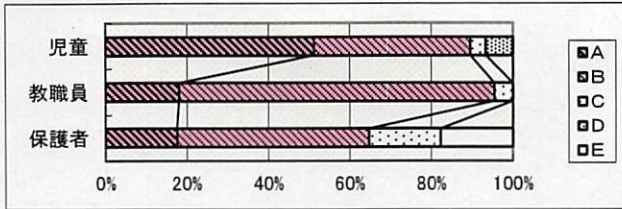
来年度も引き続き、学年、学級、児童会、委員会等、児童が「ありがとう」と言ってもらえる機会を多くつくるように努めます。

「授業中は先生や友達の話をしっかり聞いている」



AとBの合計約90%の児童が「授業中は、先生や友達の話をしっかり聞いている」「授業は、わかりやすい」と答えています。教職員の授業力向上のため

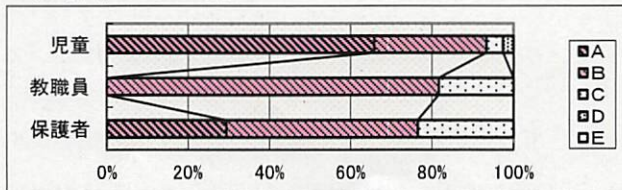
「授業は、わかりやすい」



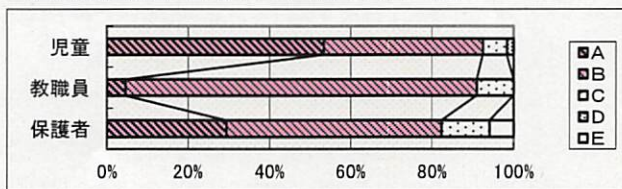
に一人一授業公開による校内授業研究を進めました。教職員の授業改善への意識が高まりつつあり、全体としては児童が落ち着いて学習に取り組んでいます。しかし、児童の中には「説明が分かりづらい」「分からなくても進んでしまう」といった意見もあります。

来年度も引き続き、学びやすい授業を目指し、日常授業の改善に取り組みます。また、学校でかかわり合いながら学ぶ意義を再確認し、「相手が何を伝えたいのかを考えながら、最後まで話を聞く」など、学習の基本姿勢や学習習慣について学年ごとに具体的に示し、児童へ働きかけていきます。

「登下校だけでなく、いつも安全に気を付け交通ルールを守っている」



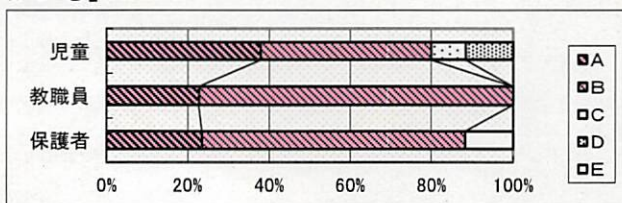
「学校の決まりを守って生活している」



AとBの合計90数%の児童が「登下校だけでなく、いつも安全に気を付け交通ルールを守っている」「学校の決まりを守って生活している」と答えています。全体としては、児童の安全に対する意識は一定程度あると考えられます。今年度は、ここ数年町内の小学校と比較してけがの発生率が高いため、身体測定時のミニ保健指導、保健だよりや委員会による啓発に取り組みました。特にミニ保健指導では、学校生活の場面で「どこが危険か」「どのような危険が予測されるか」を考えさせました。

来年度も引き続き、身体測定時のミニ保健指導で危険予知トレーニングを計画的に実施します。また、児童がけがや失敗をしたときに確実に振り返りをさせるなどして、同じけがや失敗を繰り返さないように働きかけていきます。

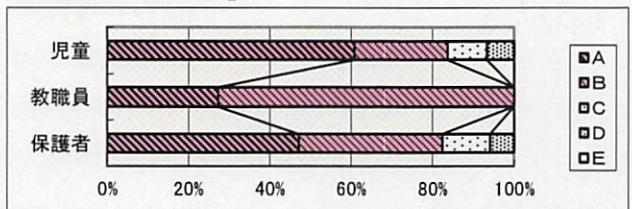
「学校には、自分のことをよく分かってくれる先生がいる」



AとBの合計約80%の児童が「学校には、自分のことをよく分かってくれる先生がいる」と答えています。今年度は、学期1回の教育相談アンケートに加え、月1回の簡単なアンケートを行い、児童がSOSを発しやすい環境づくりに努めました。児童一人一人みんなと話す時間を確保するなど、教育相談が充実しつつあり、全体としては児童と教職員の関係はおおむね良好だと考えられます。しかし、どの児童も大小の違いはあっても問題を抱えていることを認識し、一人一人の児童を多面的に見ることができるよう、常に意識しておく必要があります。

来年度も引き続き、日常的なあいさつや声かけと受動的な態度によって、児童との良好な人間関係を築くよう努めます。また、スクールカウンセラーや養護教諭と学級担任が協力して教育相談を充実し、児童が困っていることについて確実にかかわっていきます。

「学校は、楽しい」



AとBの合計83.7%の児童が「学校は、楽しい」と答えています。昨年度同様今年度も、当初の目標90%には届きませんでした。

引き続き90%の児童が「学校は、楽しい」と答えることを目指します。

* * * * *

◇第7回東郷町ジュニア駅伝競走大会

【女子の部】

優勝

TOGO! GIRLS

(美濃羽ひかり、梅村 藍、佐藤美月)

区間賞 第5区 佐藤美月

【女子低学年の部】

優勝

Togo 女子124

(美濃羽あさひ、小島優空、加藤杏奈)

◇愛知県小学生学年別大会 (ソフトテニス)

【女子4年生以下の部】

第3位

西尾心春・笠井唯花ペア

☆ あたいまえに感謝 ☆

東日本大震災から7年が過ぎ、8年目を迎えました。昨年の今ごろの避難生活者は12万人を超えていましたが、現在は77,000人です。復旧・復興は進んでいるように思われますが、それでも東郷町の人口の約1.8倍です。このことを忘れてはいけません。(=右写真3.11集会)

